

開講科目名 / Course	予防的家庭訪問実習	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美、佐藤 愛、影山 隆之	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	20	
科目の目的と概要	<実習目的> 1. 地域に住む高齢者の生活・人生を長期的な視点で捉えることができる。 2. 地域に住む高齢者の健康と生活を維持するための支援について考えることができる。 3. 高齢者の在宅生活を支えるためのシステムや地域のあり方（自治体の取り組み等を含む）を考えることができる。 4. 世代や学年を超えた人とコミュニケーションをとることができる。 <4年次実習目的> 1. 協力者の健康や生活に関するアセスメントを行い、今後予測される変化を踏まえて支援の提案ができる。 2. 協力者が生活する地域の特徴や課題を把握し、必要な社会資源を考えることができる。 3. チームのリーダーとしてその方法を他学年と共有し継続した支援を実践することができる。	
到達目標	1. 協力者が望む地域での生活を実現するために、必要な社会資源の活用について提案できる。 2. 協力者とののかかわりを通して、地域の特徴や課題に気づいて述べることができる。 3. 協力者が住む地域の特徴や課題を踏まえ、必要な社会資源について述べるができる。 4. 高齢者が住み慣れた地域で生活をするために必要な社会資源について、説明することができる。 5. チームリーダーとして、協力者への支援が継続できるよう、チーム内での相互協力を促進することができる。	
DPとの対応	1. 心豊かな人間性・倫理観、3. 看護の基盤となる専門知識・技能	
授業計画	実習期間：2025年4月～12月 実習場所：富士見が丘団地・下横瀬地区、野津原地区の70歳以上の協力者のご家庭等 実習方法：学生の到達目標を考慮し、協力者の家庭を訪問する。学生は1～4年生の縦割りで構成されたチームのメンバーとともに、年間4回以上訪問する。	
その他の授業の工夫	他学年のグループメンバーと協力しながら、年4回以上の訪問を行う。 協力者の都合などで訪問計画がうまく進められない場合は、看護研究交流センター教員に相談すること。	
時間外学修	事前学習：カンファレンス、予習(1.5h) 事後学習：カンファレンス、記録作成(2.5h)	
評価方法と評価割合	年4回以上訪問し、以下の ～ により総合的に評価する。 訪問のレポート・・・60% 実習内容／実習態度・・・30% 最終レポート・・・10%	
テキスト	必要時、ハンドアウトを配付する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	福田広美：病院における看護活動 佐藤愛：病院・地域における看護活動 影山隆之：離島における訪問診療
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	学生の相談に応じ、健康な在宅生活に必要な条件や健康教育の方法について助言する。	